

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数 又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	経理ビジネス学科	夜・通信	300 時間	160 時間	
	医療事務学科	夜・通信	450 時間	160 時間	
文化・教養専門課程	公務員学科(2年制)	夜・通信	200 時間	160 時間	※
	公務員学科(1年制)	夜・通信	95 時間	80 時間	※
	スポーツ学科	夜・通信	210 時間	160 時間	
教育・社会福祉専門課程	こども保育学科	夜・通信	1,590 時間	160 時間	
	介護福祉学科	夜・通信	2,134 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校法人大原学園HPにて公開している。
掲載URL：<https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名：公務員学科（2年制）、公務員学科（1年制）

（困難である理由）

当該学科は公務員を目指す学校であり、入学生のほぼ全員が官公庁への就職を希望している。公務員として採用されるためには、一般知識・一般知能等の教養科目及び法律系や経済系の専門科目の知識を身に着けることが不可欠であり、当校では公務員試験に向けてこれらの知識の習得に多くの時間を割り振っている。当該学科における「実務経験のある教員」としては公務員が想定されるが、上記の科目知識習得のための授業の教員としては、配置が困難である。

また、公務員の実務には守秘性が高いものが多く、さらに警察官や消防官などの公安職には危険度の高い専門的な業務などもあり、これらの公務員の実務を学ぶことは困難である。

以上の学科分野の特性等により実務経験のある教員等による授業科目を設置することは困難である。

しかしながら、官庁企業研究や各種実習・演習・研究科目において、関連企業や公共団体と連携し実践教育にも力を入れている。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司法書士事務所 所長	2025.5.29～4 年以内に終了 する会計年度 のうち最終の ものに関する 定時評議員会 の終結の時ま で	法人運営における 法務的な検証、管理
非常勤	Web デザイン・システム 開発・印刷関連企業 代表	2025.5.29～4 年以内に終了 する会計年度 のうち最終の ものに関する 定時評議員会 の終結の時ま で	学生募集、教材開発 への助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校
設置者名	学校法人 大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(1) 作成について</p> <p>授業計画(シラバス)は毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容について検討を行い、学科・コースの担当教員が作成を行っている。なお、検討にあたっては、専門分野に関する企業、団体等との連携により設置している教育課程編成委員会の提言を参考にしながら各授業科目の内容に反映させている。</p> <p>授業計画(シラバス)の作成、記載項目は学校全体で定めたガイドラインに沿って行っている。</p> <p>(2) 作成・公表の時期について</p> <p>年間計画に基づき、教育課程編成委員会での意見収集、反映させた上で、前年度中に作成を行い、新年度開始前までにHPを通じて公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	学校法人大原学園HPにて公開している。 https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則に規定する履修、学業成績、進級および卒業要件に基づき各学生の学習成果に対して厳格な評価を実施している。なお、学生に対しては学生便覧を用いて周知を図っている。

【学則より抜粋】

(試 験)

第17条 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。なお、本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学業の達成度を客観的に評価するための指標として100点方式(満点を100点として換算する)を採用し、下記の通り成績評価を行っている。</p> <p>(1) 成績評価 各授業科目の成績を点数評価(100点満点で評価)し、G P A(Grade Point Average)を用いて成績分布を把握している。</p> <p>(2) 試験 授業科目ごとに行う定期試験によりこれを定める。ただし、授業科目によってはその他の方法で査定することができる。 その他の方法には実習成果、履修状況などの評価が含まれる。また、本校において必要と認めたときに限り、追試験及び再試験を行う。</p> <p>(3) 学業成績 学業成績の判定は、成績評価をもとに判定する。 秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。また、授業科目の成績はそれぞれの評価に対して、下表に定める基準によりG P (Grade-Point)を与える。 上記の客観的な成績評価指標についてはHPで公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学校法人大原学園HPにて公開している。 掲載URL : https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校は、簿記会計、税務会計、情報処理、医療事務の商業実務分野、公務員、スポーツ関連の文化・教養分野、福祉・保育人材育成の教育・社会福祉分野の専門教育を施し、人格の陶冶を行い、もって有為な産業人を育成することを目的とする。</p> <p>それぞれの分野における専門的な知識、技能を養成するとともに、社会人として求められる基礎力、思考、言動についてもバランスよく身につけた人材を育成すること、また、社会全体、各産業界における課題を見つけ出し、自らもその一員としての自覚を持ち貢献できる人材を育成することを目的として教育カリキュラムを編成し指導にあたる。</p> <p>上記に基づき、ディプロマポリシーとして、卒業時点で身に着けている能力を以下の通りに定め、HPにて公開している。</p> <p>(1) 社会で守るべき倫理や責任を理解している</p> <p>(2) 各学科の教育課程に示す専門的な知識、技能を身につけている</p> <p>(3) 教育課程に示す知識、技能を身につけるために自ら学ぶ姿勢を身につけている</p> <p>(4) 他者と協力し物事を成し遂げる姿勢と、そのために必要な表現力を身につけている</p> <p>【卒業の認定】</p> <p>当校の各課程において下記に定める授業時間数以上を履修し、かつその該当する授業科目について各学年末における試験に合格して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。</p> <p>(1) 商業実務専門課程 経理ビジネス学科 1, 700時間</p> <p>(2) 商業実務課程専門 医療事務学科 1, 700時間</p> <p>(3) 文化・教養専門課程 公務員学科(2年制) 1, 700時間</p> <p>(4) 文化・教養専門課程 公務員学科(1年制) 850時間</p> <p>(5) 文化・教養専門課程 スポーツ学科 1, 700時間</p> <p>(6) 教育・社会福祉専門課程 こども保育学科 1, 710時間(72単位)</p> <p>(7) 教育・社会福祉専門課程 介護福祉学科 2, 074時間(68単位)</p> <p>【専門士の称号の授与】</p> <p>当校の各課程修了した者で、下記学科を修了した者には、次のとおり称号を授与する。</p> <p>(1) 商業実務専門課程経理ビジネス学科は、専門士(商業実務専門課程)の称号を授与する。</p> <p>(2) 商業実務専門課程医療事務学科は、専門士(商業実務専門課程)の称号を授与する。</p> <p>(3) 文化・教養専門課程公務員学科(2年制)は、専門士(文化・教養専門課程)の称号を授与する。</p> <p>(4) 文化・教養専門課程スポーツ学科は、専門士(文化・教養専門課程)の称号を授与する。</p> <p>(5) 教育・社会福祉専門課程こども保育学科は、専門士(教育・社会福祉専門課程)の称号を授与する。</p> <p>(6) 教育・社会福祉専門課程介護福祉学科は、専門士(教育・社会福祉専門課程)の称号を授与する。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学校法人大原学園HPにて公開している。 掲載URL : https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	経理ビジネス学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,700 単位時間/単位	10,570 単位時間/単位	2,370 単位時間/単位	180 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			13,120 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
152人		143人	32人	5人	0人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 長期欠席者への指導等の対応、保護者への連絡および通知 等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
65人 (100%)	8人 (12.3%)	54人 (83.1%)	3人 (4.6%)
（主な就職、業界等） 税理士法人桜会計事務所、コナミグループ、JUK I ㈱、保土谷化学工業㈱、 三菱製紙㈱、㈱京王 IT ソリューションズ、㈱ホテルオークラ東京 他			
（就職指導内容） 全体指導によるレクチャー、校内での就職セミナー・ガイダンスの実施 就職ゼミ担当者による求人紹介、個別就職指導、面接トレーニング 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日商簿記検定、リテールマーケティング検定、MOS、電卓検定、漢字検定 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
123 人	5 人	4.1%
(中途退学の主な理由) 学習意欲の減退、病気、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者による定期面談、保護者への定期連絡、保護者を含めた三者面談等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務		商業実務 専門課程	医療事務学科	○	—
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類	
				講義及び演習	実習
2年	昼間	1,700 単位時間/単位		2,775 単位時間/単位	450 単位時間/単位
				3,225 単位時間/単位	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数
76人		56人	0人	3人	0人
				総教員数	3人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等 （概要） 長期欠席者への指導等の対応、保護者への連絡および通知 等	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	0人 (0%)	33人 (97.1%)	1人 (2.9%)
（主な就職、業界等） 大学病院、総合病院、診療所、薬局、介護施設 等			
（就職指導内容） 全体指導によるレクチャー、校内での就職セミナー・ガイダンスの実施 就職ゼミ担当者による求人紹介、個別就職指導、面接トレーニング 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医療請求事務検定、医療秘書実務検定、日商簿記検定、介護職員初任者研修、MOS 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70 人	1 人	1.4%
(中途退学の主な理由) 病気		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者による定期面談、保護者への定期連絡、保護者を含めた三者面談等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養		文化・教養 専門課程	公務員学科 (2年制)	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,700 単位時間/単位		1,160 単位時間 /単位	1,865 単位時間 /単位	765 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				3,790 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
312人		159人	0人	9人	0人	9人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準 (概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等 (概要) 長期欠席者への指導等の対応、保護者への連絡および通知 等	

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
81人 (100%)	4人 (4.9%)	75人 (92.6%)	2人 (2.5%)
(主な就職、業界等) 各種国家公務員、各地方自治体 等			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、校内での就職セミナー・ガイダンスの実施、就職担当による求人紹介・個別就職指導・面接トレーニング 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 一般教養力検定2級、一般教養力検定1級、漢字 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
168 人	11 人	6.5%
(中途退学の主な理由) 学習意欲の減退、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者による定期面談、保護者への定期連絡、保護者を含めた三者面談等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養		文化・教養 専門課程	公務員学科 (1年制)	—	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	850 単位時間/単位		400 単位時間 /単位	725 単位時間 /単位	150 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				1,275 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
78人		22人	0人	3人	0人	3人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 長期欠席者への指導等の対応、保護者への連絡および通知 等	

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	0人 (0.0%)	24人 (96.0%)	1人 (4.0%)
(主な就職、業界等) 各種国家公務員、各地方自治体 等			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、校内での就職セミナー・ガイダンスの実施、就職担当による求人紹介・個別就職指導・面接トレーニング 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 一般教養力検定2級、一般教養力検定1級、漢字 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29 人	1 人	3.4%
(中途退学の主な理由) 公務員試験合格		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者による定期面談、保護者への定期連絡、保護者を含めた三者面談、 転科の実施 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養		文化・教養 専門課程	スポーツ学科	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,700 単位時間/単位		960 単位時間 /単位	870 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				2,070			単位時間/単位	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
74人		23人	0人	3人	0人	3人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等 （概要） 長期欠席者への指導等の対応、保護者への連絡および通知 等	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	1人 (7.7%)	11人 (84.6%)	1人 (7.7%)
（主な就職、業界等） （株）石井スポーツ、（株）日本オフィスオートメーション、カーリットホールディングス（株）、 タウングループ、藤田観光（株）、コーセー化粧品販売（株）東京関東グループ 他			
（就職指導内容） 全体指導によるレクチャー、校内での就職セミナー・ガイダンスの実施 就職ゼミ担当者による求人紹介、個別就職指導、面接トレーニング 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） リテールマーケティング検定、スクーバダイビングライセンス、SAJ（スキー）・JSBA （スノーボード）バッジテスト、MOS、電卓検定、漢字検定 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	1 人	3.3%
(中途退学の主な理由) 就職内定		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者による定期面談、保護者への定期連絡、保護者を含めた三者面談等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉	教育社会福祉 専門課程	こども保育学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼間	1,710 単位時間/単位	750 単位時間 /単位	1,470 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位
			2,490 単位時間/単位			
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人	86人	0人	5人	人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 長期欠席者への指導等の対応、保護者への連絡および通知 等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
60人 (100%)	1人 (1.7%)	59人 (98.3%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
ひめゆり保育園、梨花幼稚園、八王子福祉園、せいしん幼稚園、古里保育園、希望の郷東村山、東京都立萩山実務学校、WITH インターナショナルプレスクール 保育所まあむ高田馬場駅前園、アスク府中片町保育園、七生福祉園、富士ヶ丘幼稚園、国立たいよう保育園、福祉作業所天成舎、大空と大地のな一さりい下井草駅前園、ういず武蔵小金井保育園、ひろせ台保育園、元氣保育園、敬愛保育園、上ノ原保育園、まや保育園、中野区南台学童クラブ、高尾幼稚園、新町西保育園、たかはた北保育園、杉の子第二保育園、ういず吉祥寺第一保育園、西多摩療育支援センター、れんげ学園、ありんこ保育園、千春第二保育園、小平どろんこ保育園、このめ保育園、西国立保育園、狛江市立和泉児童館、児童発達支援 TODAY is New Life 柿生、瑞学園、阿佐谷北保育園、トレジャーキッズ分倍、ぶんじっこ保育園分園、若葉保育園、日野わかば保育園、立川福祉作業所、めぐみ第二保育園、ニチイキッズ東村山、窪平保育園、城山保育園、明国保育園、障害者就労プラザあいあい、つばさ保育園 等			

(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、校内での就職セミナー・ガイダンスの実施、担任による 求人紹介・個別就職指導・面接トレーニング 等
(主な学修成果(資格・検定等)) 保育士、おもちゃインストラクター、レクリエーションインストラクター 上級救命等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
119 人	10 人	8.4 %
(中途退学の主な理由) 病気治療、目的意識の低下 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者による定期面談、保護者への定期連絡、保護者を含めた三者面 談、転科の実施 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育社会福祉 専門課程	介護福祉学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2,074 単位時間/単位	1,188 単位時間 /単位	850 単位時間 /単位	456 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,494 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		34人	17人	3人	人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 長期欠席者への指導等の対応、保護者への連絡および通知 等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	18人 (85.7%)	2人 (9.5%)	1人 (4.8%)
（主な就職、業界等） よみうりランド慶友病院、株式会社エターナルキャスト、清明園、ぬく井の杜、恵翔苑、やすらぎの園、アップスタート合同会社、グループホームひかる、プラチナヴィラ小平、ALSOK介護株式会社、相模原ロイヤルケアセンター、グループホーム八王子、こころの訪問介護、ボンセジュール永山、愛全園、リラス訪問介護センター、ユースタイルラボラトリー株式会社 等			
（就職指導内容） 全体指導によるレクチャー、校内での就職セミナー・ガイダンスの実施、担任による求人紹介・個別就職指導・面接トレーニング 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34 人	4 人	11.8 %
(中途退学の主な理由) 別進路に進学、目的意識の低下 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任及び学科責任者による定期面談、保護者への定期連絡、保護者を含めた三者面談、転科の実施 等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
経理ビジネス学科	200,000 円	680,000 円	400,000 円	
医療事務学科	200,000 円	680,000 円	400,000 円	
公務員学科 (2年制)	200,000 円	680,000 円	400,000 円	
公務員学科 (1年制)	200,000 円	680,000 円	400,000 円	
スポーツ学科	200,000 円	680,000 円	500,000 円	
こども保育学科	200,000 円	680,000 円	400,000 円	
介護福祉学科	200,000 円	680,000 円	480,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP 上に公開 https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員会を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人 IT 産業懇話会 共同コンピュータ株式会社 取締役人事部長	2024. 4. 1～ 2026. 3. 31	専門分野における業界 関係者
小山均税理士事務所 所長	2024. 4. 1～ 2026. 3. 31	専門分野における業界 関係者
医療法人社団桐光会調布病院 医事課 課長	2024. 4. 1～ 2026. 3. 31	専門分野における業界 関係者
社会福祉法人 至誠学舎立川 諏訪の森保育園 園長	2024. 4. 1～ 2026. 3. 31	専門分野における業界 関係者
特定非営利活動法人 ワーカーズコープ センター長	2025. 4. 1～ 2027. 3. 31	専門分野における業界 関係者
株式会社グッドライフ	2024. 4. 1～ 2026. 3. 31	卒業生

学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HP 上に公開 https://www.o-hara.ac.jp/about/jissen/
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 大原学園グループ 掲載 URL https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113320200052
学校名 (〇〇大学等)	大原簿記公務員医療福祉保育専門学校立川校
設置者名 (学校法人〇〇学園等)	学校法人 大原学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		101人（－）人	92人（－）人	101人（－）人
内訳	第Ⅰ区分	60人	51人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	21人	20人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	16人	17人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	一人	一人	
区分外（多子世帯）	0人	0人		
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				101人（－）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が廃止の基準に該当)	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	一人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	一人
計	人	一人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	人	前半期	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	一人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	20人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	一人	一人
計	0人	一人	21人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。